

3 交通事業会計

〔概要〕

令和5年度は、安定した事業運営・事業継続に向けた運転士確保のため、ハローワーク実施の会社説明会への継続参加や、バス運転未経験者を対象とした運転体験会の年4回の定期開催を始め、採用内定者の経済的負担軽減のための大型二種免許取得助成金の増額などに積極的に取り組みました。

また、コロナ禍前の水準への回復に向け、ひとりでも多くの人に路線バスを利用していただくため、市が実施した「路線バス運賃無料デー」への協力、「市営バスお客様感謝デー」の初めての開催や、ICカード利用促進に繋がる市営バス乗り放題定期券「サバスク」の販売など、バスの利用促進にも取り組みました。

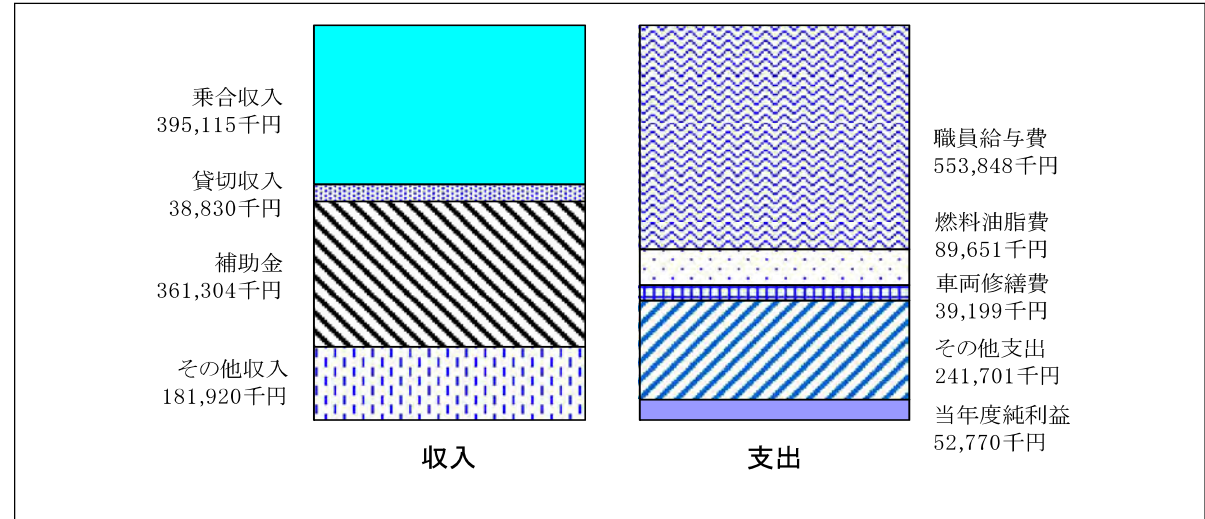
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 16,715 台(前年度比 95.9%)、走行キロ数は 2,628 千km(前年度比 98.2%)、輸送人員は 1,880 千人(前年度比 101.9%)となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は 676 台(前年度比 107.0%)、走行キロ数は 68 千km(前年度比 116.4%)、輸送人員は 14 千人(前年度比 105.3%)となりました。

経営成績については、事業収益は 977,169 千円に、事業費用は 924,399 千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は 52,770 千円に、また、当年度未処分利益剰余金は 119,320 千円となりました。

資本的収支については、収入は、固定資産売却代金等で 3,266 千円、支出は、路線バス3台の新車購入費用及び企業債償還金等で 100,641 千円となり、差引不足額 97,375 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 7,489 千円及び過年度分損益勘定留保資金 89,886 千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕

